

日々の田高（修学旅行3日目）

修学旅行3日目は、震災についての学習を6コースに分けて行うとともに、生田神社や舞子公園などを訪れました。各コースの様子などを紹介いたします。



朝食の様子



神戸港震災メモリアルパークの見学



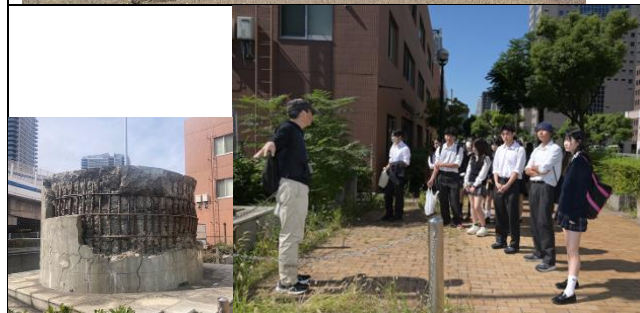
BE KOBE モニュメント



BE KOBE モニュメント

<コース別震災学習>

（1）K-TEC 神戸防災技術者の会 防災学習（座学・街歩き）コース



神戸市中心部の阪神淡路大震災に関わる施設の見学や遺構の見学とともに、お話を伺いました。まちの復興業務などで培われた経験をもとに、復興を願った人々の想いをお話しくださしました。

左上：メモリアルパーク

右上：東遊園地南にある1. 17希望の灯り

左下：浜手バイパス高架道路の橋脚の状況

（２）阪神高速の震災資料保管庫 見学コース

	
	阪神・淡路大震災での被災経験を後世に語り継ぐために設置された、一般財団法人 阪神高速先進技術研究所の「震災資料保管庫」を訪問しました。保管庫では、阪神高速道路が倒壊した状況を分かりやすく説明をいただき、橋脚の断面の説明、その後の地震への対策についての説明を伺いました。

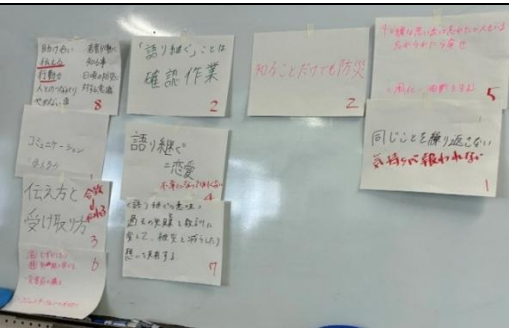
（３）FMわいわい 鷹取商店会周辺（座学・街歩き）コース

	
	震災後に、ことばのわからない外国人住民のために災害情報を多言語で放送した、FMわいわいを訪れて、震災当時や震災後の鷹取地区の人々の動きや放送を始めた思い、そして現在の思いなどを、街をあるきながら伺いました。 左上：鷹取教会にてお話を伺う。 右上：大国公園にて、震災当時のお話を伺う。 左下：町内を歩きながら、多文化共生の街づくりなどについてお話を伺う。

(4) 灘百選の会 会長 慈さんの講話（座学・街遊び）コース

	
	震災当時は東京で働いていた慈さん。震災をきっかけに神戸に戻り、復興委員会に携わるようになります。その後、naddistのようなメディアや神戸のまちを楽しむイベントを進める「まちあそび」を始めます。生徒たちは、この「まちあそび」を行う慈さんの思いを聞くとともに、実際に商店会の商店の方のお話を聞いたり、空き地を見学したりしました。

(5) 兵庫県立舞子高等学校環境防災科3年生との交流コース

	
交流の様子	舞子高校の生徒と一緒に記念撮影
	
交流会、班別学習まとめ	舞子公園にて

兵庫県立舞子高等学校環境防災科3年生の皆さんに受け入れていただきました。継続されている「語り継ぐ」ことについての説明や、防災に関する対話などを行いました。本校の生徒からは、①自分たちのことを受け入れてくれて感激したこと。②哲学対話でのやりとりのこと。③ふだんあまり話さない防災について同世代の高校生と話しながら考えることができたことなどがとても印象的だったと聞きました。

(6) 神戸新聞社コース

	
	神戸新聞社本社 2 階の「報道展示室ニュースポート」にて、編集局文化部長の石崎勝伸さんからお話を伺いました。 記者の目から人の命や暮らしに視点を合わせた記事を紹介いただきました。例えば、近年の災害で取り上げられる「災害関連死」。この概念は、阪神淡路大震災での亡くなられた方がきっかけとなったこと。そのことを報じた記事を示しながら、現在も災害関連死がなくならないことに忸怩たる思いであると話され、生徒たちは、大いに考えさせられました。

<人と防災未来センターの見学>

<生田神社>



<市内見学>



あるグループは、市内にある、阪神淡路大震災が発生した時刻を示す時計も見学しました。
場所は、中山手1丁目の象ビルディング
運営会社は、株式会社ジェム。東日本大震災や能登地震において、阪神淡路大震災で助けられた恩返しということで被災された方にマッサージを行うなどの活動もされています。

なお、山手幹線の麒麟ビルの時計も同会社によるものです。

